



photo pick up



1月展示：
バードカービング展



多摩川でみられる樹⑤ アカマツ・クロマツ

アカマツは女松(雌松)、クロマツは男松(雄松)と呼ばれています。



クロマツの冬芽

日本に分布する7種のマツ類の内、アカマツは川沿いの砂れき地や山地に、クロマツは海岸に沿って主に生育しています。いずれも常緑高木で、40mを超える高木もあります。アカマツは樹皮が赤く針葉は細くやわらかで、クロマツは樹皮が黒色を帯び針葉も太く堅いため、それぞれ女松、男松と呼ばれます。マツ類の開花は4月ごろ雌花が当年枝の先端につき、雄花はその下部に群がってつきます。球果が翌年秋に成熟すると、マツカサが開いて片翼がついた種子が回転しながら飛散します。マツ材は樹脂を多く含み色艶がよいため民家の梁や敷居に、また火持ちがよいので松明や松炭、薪として使われました。

陽樹であるマツ類は痩せ地でも生育するので、街道の並木や海岸の防砂林、里山の治山治水用にと植林されて

きました。明治時代の多摩川絵図には流域に多くの松林が描かれています。近年、松林の手入れがされなくなり、全国的にマツノザイセンチュウによる松枯れが蔓延しています。「多摩川50景」には府中、狛江、多摩川台の松林が選ばれているので、景観上大切なこれらの松林を守っていききたいものです。



狛江の五本松

みんなで歩こう散策こみち 多摩川ゼロポイントから 干潟館までバードウォッチング [12月20日]



羽田鳥居

曇り時々雨という悪条件のもと、多摩川ゼロポイントからスタート。今回は冬鳥観察を日玉にし、東京農業大学野鳥の会の大橋圭太氏に解説をお願いしました。河口は予想通り野鳥に溢れ大鳥居までで1時間半を、皆熱心に観察しました。結果31種の野鳥を見ることができました。

散策は五十間鼻、羽田旧レンガ堤、羽田神社、干潟館へと進みました。途中創業120年の大谷正吉商店で佃煮をお土産に購入、最後の干潟館では寺尾祐一副理事長の説明を聞くなど、収穫の多い散策でした。

多摩川水辺の楽校 子どもシンポジウム川崎 「多摩川で輝く子どもの未来」

2月28日(土) 13:00~16:00
会場/エポックなかはら7階大会議室

基調講演/中本 賢氏(俳優・川崎市教育委員)
プログラム/市内の子どもたちが
多摩川について調べたこと
発見したことを発表・提案します。



予告

多摩川エコミュージアム★イベント情報

- 2月 7日(土) 9:00 多摩川クリーンアップ(せせらぎ館周辺)
 - 15日(日) 9:00 散策こみち ニケ領用水から生田緑地まで
 - 21日(土) 10:00 春の野草探し(だいし水辺の楽校)
 - 28日(土) 13:00 子どもシンポジウム川崎(エポックなかはら)
 - 3月 3日(火) 10:30 多摩川幼児サロントミック仲よしランド*(せせらぎ館2階)
 - 7日(土) 9:00 多摩川クリーンアップ(せせらぎ館周辺)
 - 15日(日) 11:00 クリーンアップ&焼きいも大会*(とどろき水辺の楽校)
 - 21日(土) 10:00 春の野草と干潟観察会(だいし水辺の楽校)
 - 28日(日) 10:00 東名下の湧水で「魚捕り」(かわさき水辺の楽校)
- *印のイベントは参加費200円

館内展示予定

2月展示/多摩川に来る野鳥展(登戸の冬鳥)
3月展示/川崎の工場夜景写真展
ひな人形展

※詳しくはニケ領せせらぎ館
044-900-8386まで、お問い合わせください。